

看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校(はまかん) <https://hamada.hosp.go.jp/hamakan/>

2023年度 浜看学校祭 - 結兔(ゆいと) - を 開催致しました



令和5年10月7日(土)に学校祭を開催し
1,000名以上の方にご来校頂きました。
キッチンカーやライブステージ、看護体験、
縁日、展示や各種販売、体験など行いました。

学校祭の詳しい内容は
こちらをチェック!



学校祭実行委員より

2年生 大迫 そら、福原 美羽

初めは学校祭運営委員でこの企画で地域の人や学生が楽しめるか、外部の人はどのくらい来ていただけるのか、どのくらい景品やパンフレットが必要なのか見当がつかずとても不安でした。しかし当日は、予想していた以上のお客様が来てくださり驚きとともにうれしかったです。実際に来場して下さった方とお話した際、「思っていたより規模が大きくて楽しめた」や「看護展示をみて看護学生がどんなことをしているのか見ることが出来て面白かったよ」と言ってくれました。アンケートには「様々な工夫があり、看護や学校の様子を知ることができとても楽しかったです」「また来年も祭りをしてほしいです」などのお言葉をいただきました。病院の職員や地域の方々が楽しんでいる姿や、心温まる言葉を頂き嬉しかったです。学生もキッチンカーで色々な美味しい物を食べていたり、縁日を楽しんでいる姿をみて、企画して良かったと感じました。

今年は新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、本当に開催できるかどうか手さぐりの状況で準備を進めましたが、会場の感染予防対策も行い無事に終了することができました。

来年はもう少し早くに準備に取り掛かり、さらに楽しく盛り上がる学校祭にしていきたいです。

学校祭に参加して

1年生 大國 みゆき、田平 理子、
稲垣 友菜、玉木 杏

今回の学校祭は私たち1年生にとって初めての経験でした。学校祭の準備から当日まで限られた時間の中で、地域の方にも有意義な時間を過ごせるよう学年の壁を越えて意見を出し合ったり話し合いを重ねたりすることで学生間の団結力を強く感じました。また、改善が必要な点もコミュニケーションを通してそれぞれの企画を学校全体でより良いものにしていく学生の姿勢や出演・協賛して下さる方が多く、私たちの活動を一緒に盛り上げてくださる姿がとても印象的でした。学校祭当日は想像以上に来校者数が多く、学生だけではなく年齢問わず多くの地域の方々の笑顔も見られて私たち自身も嬉しい気持ちになりました。学校生活では、地域の方との交流は多くないため、すれ違ったときに学生に話しかけてくださり、非常に良い機会だったと感じています。また、学校祭を開催するにあたってコロナウイルス感染症の拡大が心配されていましたが、皆様のご協力で感染対策を徹底できたと思います。

今回の経験を通して仲間と一つ一つ乗り越え、今は無事に成功したという達成感があります。来年の学校祭は私たちが中心となるので、今回自分たちが学んだことを発揮できるよう学校の一員として実施していきたいです。

参加者アンケート結果

人気コーナー上位は、「看護スタンプラリー(22%)」、「縁日(20%)」、「舞台演出(18%)」でした。

アンケートでは「子供の血圧測定がよかった」や「おもてなしの気持ちが伝わった」など多くの感想を頂きました。事故や終了後の感染などもなく無事終了できました。関係者の皆様、ご来校頂いた方々に感謝致します。

学校祭の様子



第77回国立病院 総合医学会に参加しました

令和5年10月21日(土)に、シンポジウム『未来を担う看護学生が集い語る地域の特色と看護』で本校の特色である民泊実習や地域を支えていくための学びについて本校の学生がシンポジストとして発表しました。

2年生 三上 知華、倉鋪 彩佳

私たちは「地域・在宅看護論実習で見た地域の実態～中山間地域で暮らす意義と看護職の役割」として、1年次に中山間地域で「民泊実習」を行った体験から学んだことを発表しました。一般の民家に宿泊し、地元で採れた作物と一緒に郷土料理を作り、その土地の文化や風土、大切にしている想いを聞きました。公共交通機関の利便性に欠け、超高齢化が進み、冬季には積雪で外出もままならない地域であっても、家を守りそこで暮らす意味を考えることができました。私たちは、民泊先の方々へ住み慣れた家で暮らし続けてほしいと願い、各家庭の習慣に応じた健康に関する情報を提供しました。このような体験をすることにより地域の中核となる医療センターの存在意義を考え、また受診をする際の困難さを知ることができました。会場から高齢者の運転技術延命講習のメリットに関する質問を受けました。浜田市は移動距離が長く道幅が狭く、見通しのよくない道も多です。そこで高齢運転者の安全を守るために市町村や警察が協力してサポートしていることを伝えました。

看護学生として大勢の前で発表する機会をいただき、とても貴重な体験をすることが出来ました。



2年生 知念 陽菜

医学会で看護学生のシンポジウムを聴講し、学内では気づくことのできない学びもあり、視野を広げるきっかけとなった。

地域・在宅看護はすべての人が対象であるが、浜田市では高齢者に着目することが多いように感じる。

呉市では急な坂道の多い地域で暮らす高齢者に焦点を当てて地域の行事に参加したこと、都市部では酒造生産量が全国1位、生活習慣病・人工透析患者が多いことに着目して健康教育を実施したこと、地域の特性に応じた看護学生の活動報告を聞くことができた。その地域で暮らす人々を支えるための方策について考えていく必要があることを学んだ。シンポジウムを聴講し、これからも地域の特性に応じて、対象のライフスタイルや生活背景を理解して看護に繋げていきたいと考える。また、地域を支える多職種の意見を取り入れることで、さらに学びを深めていきたいと感じた。

「地域医療に関して」 2学年合同発表会の授業を行いました

3年生 園山 真美、藤井 えみ

カリキュラムが違う2・3年生がそれぞれの在宅実習場所で学んだことを発表したことで、お互いに学べなかった内容も学ぶことができました。実習を通じて、在宅では高齢者の生活環境や生活背景に着目した関わりが大切であると実感しました。

そして、在宅医療を支える為に多職種で連携し合う重要性が分かりました。これから高齢化が進み在宅医療が必要とされる場面が多くなるため、実習や合同発表会で学んだことをこれからの実習や臨床の場面で生かしていきたいです。

多くの地域医療、福祉施設の方に参加して頂きました。学生の学びを支えて頂き感謝いたします。

